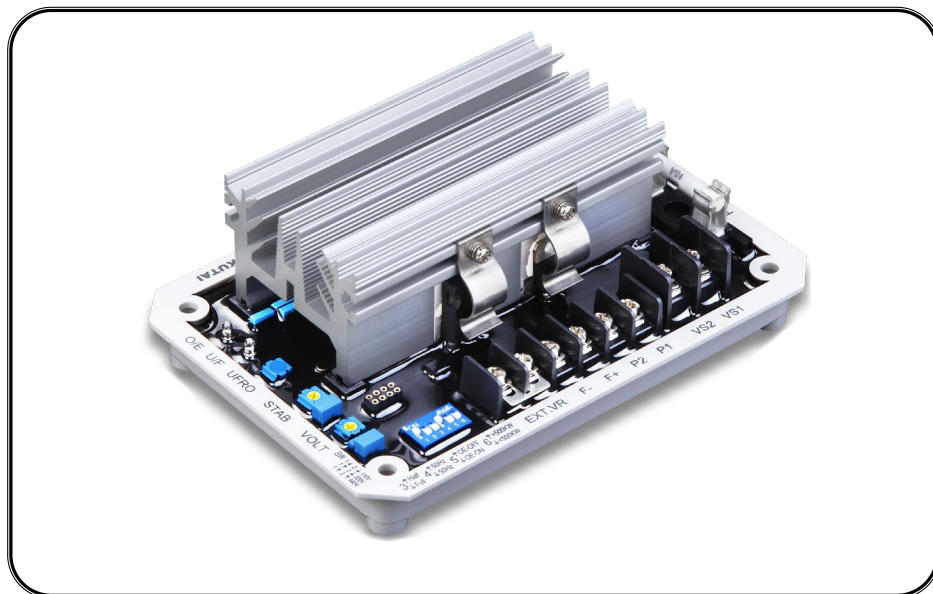


ADVR-07FH

発電機自動電圧調整器取扱説明書



アナログ / デジタル方式、単相測定、励磁電流 7Amp
全波または半波整流出力の選択可能
自励式発電機に適用



KUTAI ELECTRONICS INDUSTRY CO., LTD.

TEL : + 886-7-8121771

FAX : + 886-7-8121775

ウェブサイト: www.kutai.com.tw

所在地 / No.3, Ln. 201, Qianfu St., Qianzhen Dist., Kaohsiung City 806037, Taiwan



第一章 電気仕様

検出電圧入力 電圧	(VS1・VS2) 平均値読取 90 – 540 Vac 単相二線 DIP スイッチで設定する
調整範囲	90 – 130 Vac @ 110 Vac 175 – 270 Vac @ 220 Vac 350 – 540 Vac @ 440 Vac
周波数	50/60 Hz (DIP スイッチで設定)
電源入力 (P1・P2)	
電圧	60 – 300 Vac 単相
周波数	40 – 60 Hz
外部電圧調整 (EXT.VR)	
最大+/- 10%	@ 1 K Ω 1 watt ポテンショメータ
電圧確立	電源入力の残留磁束電圧が 5Vac 25Hz 以上であること
電圧緩昇時間	3 秒 +/- 10%
電圧調整率	+/- 0.5%以下 (周波数変動 4% 以内)
応答時間	20 ms 以下
EMI	内蔵電磁干渉フィルター

静的消費電力	最大 4 watts
低周波保護 (工場出荷時設定)	50 Hz システム ニーポイント 45 Hz 60 Hz システム ニーポイント 55 Hz
電圧温度ドリフト	-40 – +70 °C · 3%以下
低周波ニーポイント温度ドリフト	-40 – +70 °C · +/- 0.1 Hz 以下
使用条件	
操作温度	-40 – +70 °C
保存温度	-40 – +85 °C
相対湿度	95%以下
振 動	5.5Gs @ 60 Hz
寸 法	
	162.0 (L) x 112.0 (W) x 59.0 (H) mm 6.38 (L) x 4.41 (W) x 2.32 (H) inch
質 量	
	640 g +/- 2% 1.41 lb +/- 2%

励磁出力 / 励磁抵抗 / 過励磁電圧保護 / DIP SW 設定励磁出力

	DIP SW3	電源入力	励磁出力(F+・F-) *1	励磁抵抗	過励磁電圧保護*2
半波	ON	110 Vac	連続 31 Vdc 7A 最大 45 Vdc 10A 10 Sec	最小 4.5 Ω 最大 100 Ω	励磁電圧 43V +/- 10 %
		220 Vac	連続 63 Vdc 7A 最大 90 Vdc 10A 10 Sec	最小 9 Ω 最大 100 Ω	励磁電圧 85V +/- 10 %
全波	OFF	110 Vac	連続 63 Vdc 7A 最大 90 Vdc 10A 10 Sec	最小 9 Ω 最大 100 Ω	励磁電圧 85V +/- 10 %
		220 Vac	連続 125 Vdc 7A 最大 180 Vdc 10A 10 Sec	最小 18 Ω 最大 100 Ω	励磁電圧 170V +/- 10 %

*1 ヒューズ規格 6.3 x 32 mm 10A 速断型

*2 10 秒遅延後に出力を停止。逆時限特性あり。機能無効化も可能

第二章 外形 / 寸法 / 取付見取図

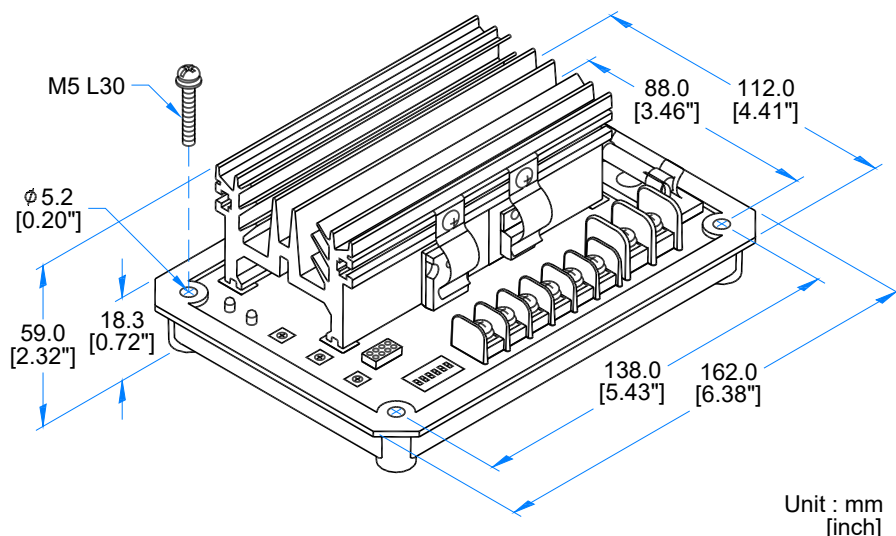


図 1 寸法図

注意!!

1. 電圧調整器は発電機セットの任意の適切な位置に設置可能です。その形状および固定穴径については(図1)を参照してください
2. 高振動環境に設置する場合は、接続線を束ねて固定し、緩みを防いでください。通常運転時、ヒートシンクが高温になるため、触れないでください。

第三章 DIP スイッチ設定および VR 調整

O/E LED : 過励磁保護指示灯

磁場出力電圧が設定値を超えるとランプが点灯する。O/E過励磁保護機能 (SW5) がOFFの場合、10秒以内に励磁出力が停止します (超過時間が長いほど停止が早まる)

U/F LED : 低周波保護指示灯

作動時、ランプが点灯する

U/F : 低頻保護調整

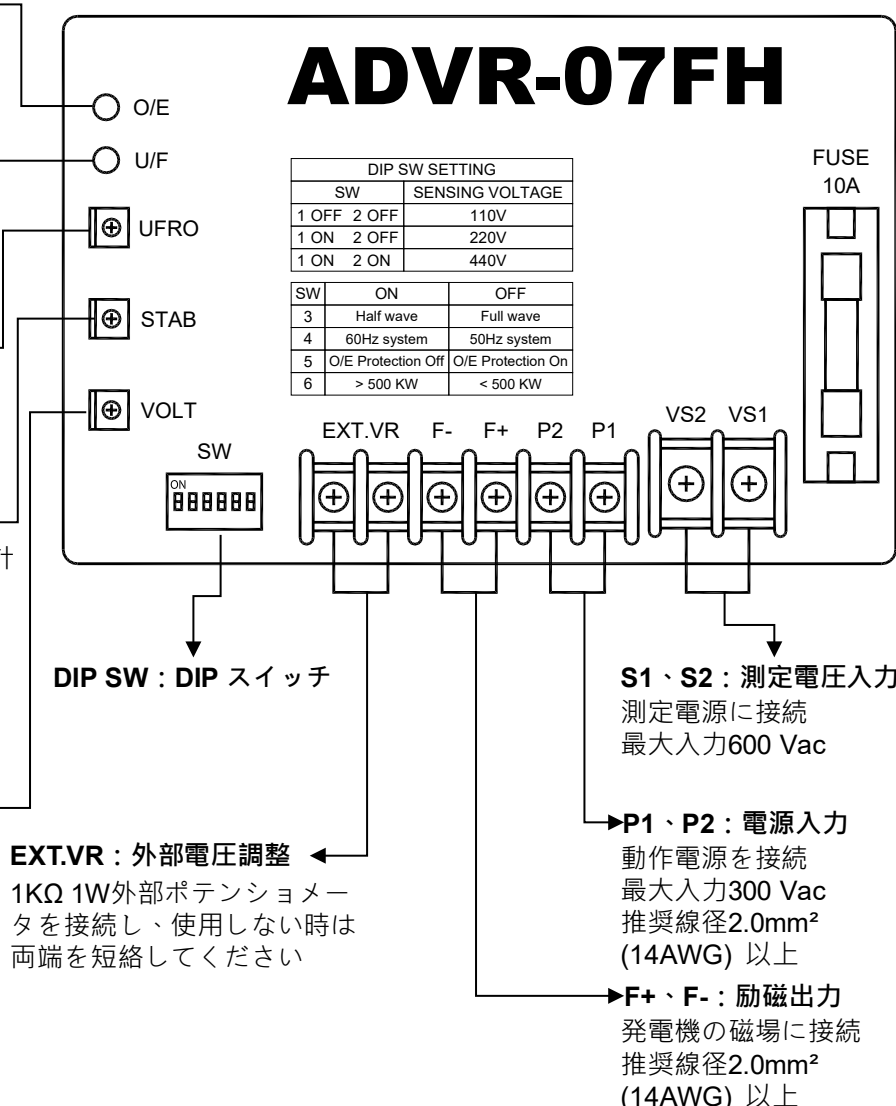
システム周波数はSW4で設定する
50Hzシステムは出荷時設定45Hz、
60Hzシステムは出荷時設定55Hz

STAB : 安定調整

無負荷運転時、STABボタンを反時計回りに調整し、電圧が不安定になるまで調整後、時計回りに安定するまで調整し、その後、少し (約10度) 時計回りに回す
発電機の反応速度はSW6で設定し、大容量の発電機は反応が遅くなる

VOLT : 電圧調整

調整範囲はSW1、SW2で設定
110V : 90 - 130V、
220V : 175 - 270V、
440V : 350 - 540V



注意!!

- 1.高抵抗計や耐圧試験器で測定する前に、AVR の接続を外し、高電圧による損傷を防いでください。
- 2.低周波保護の不適切な調整は、負荷変動時に電圧低下や不安定を引き起こす可能性があるため、UFRO 調整は慎重に行ってください。
- 3.EXT.VR の配線にはシールド線を使用し、接地線は AVR にできるだけ近い位置 (推奨: AVR 取付ネジ) に接続してください。
- 4.入力電源電圧が 110V システムの場合、発電機の磁場電圧が 20V 未満であれば半波出力、20V 以上であれば全波出力を使用してください。
220V システムの場合、磁場電圧が 45V 未満であれば半波出力、45V 以上であれば全波出力を使用してください。
全波設定の機器に半波出力を選択すると、負荷時に電圧降下が過大になる可能性があり、逆に半波設定の機器に全波出力を選択すると電圧が不安定になることがあります。
- 5.発電機運転中の DIP SW 切替は禁止。安全のため必ず停止後に変更してください。

※ 本取扱説明書指定のヒューズのみ使用してください。

※ 製品の性能・仕様・外観は、改良のため予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。

第四章 結線図

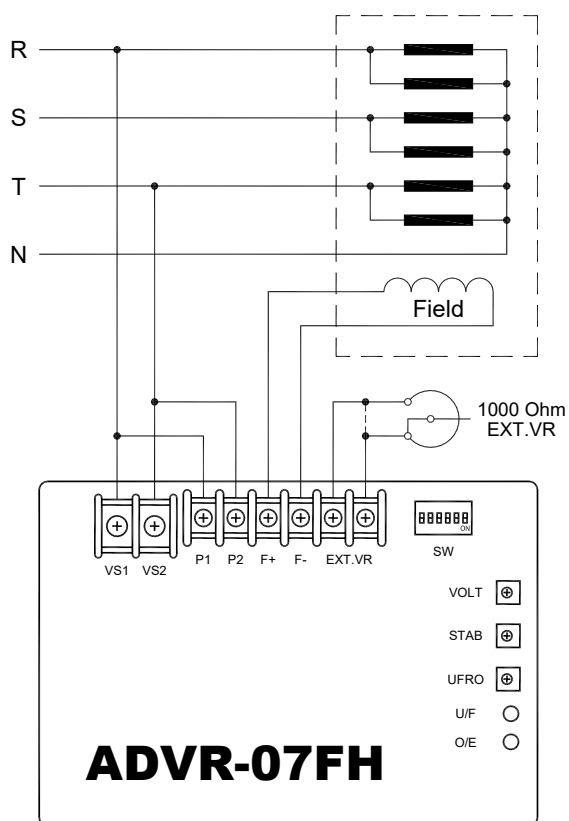


図 3 110/220 Vac

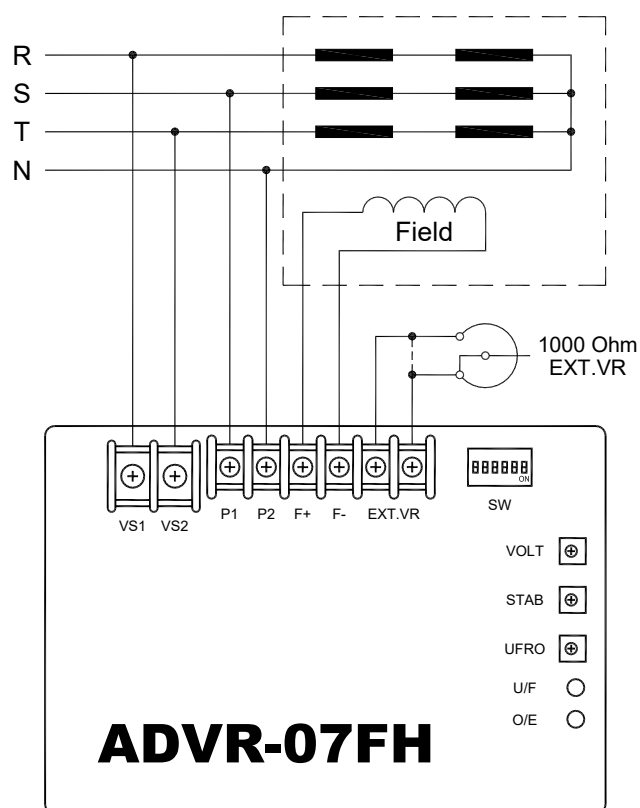


図 4 220/380/440 Vac

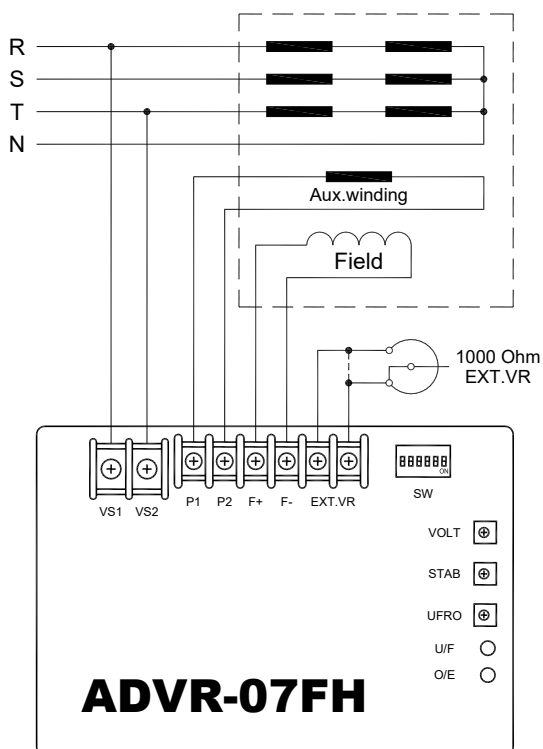


図 5 補助巻線

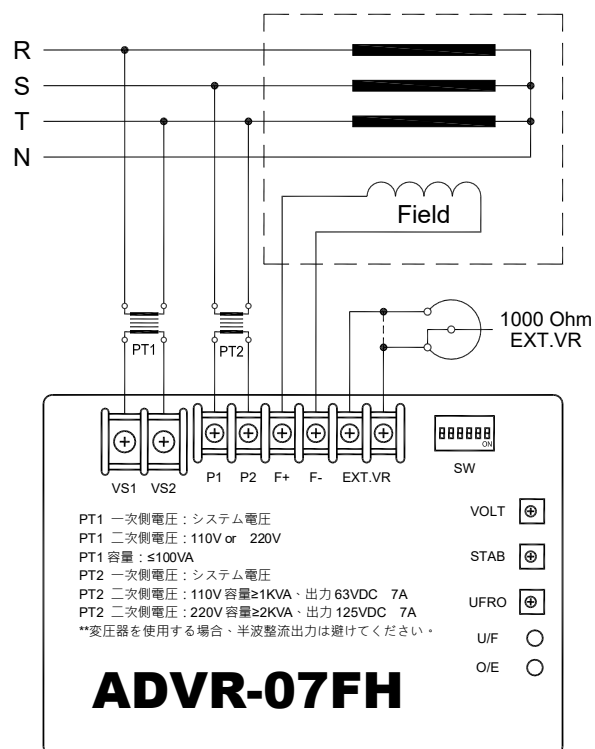


図 6 中/高電圧発電機